

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人体の構造と機能及び疾病 Human Body Structure, Function, and Illness		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修 社会福祉士主任任用資格に係る科目)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田晴美	福祉棟2F	初回授業で説明します	授業中に指示します	
授業の概要				
この授業では、日頃何気なく営んでいる生活行動は、「からだ」がどのように機能してなされているかという点に着目する。まず人間の成長と発達から始まり、正常なからだの構造と機能を理解したうえで、生活障害に繋がる疾病や障害を学ぶ。また、国際生活機能分類（ICF）とリハビリテーションの基本的な考え方についてふれる。				
授業の到達目標				
①人の成長と発達の段階を理解できるようにする。 ②人間の心身機能と身体構造について、生活行動と関連して理解できるようにする。 ③主な疾病と障害の概要について理解できるようにする。 ④国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方について理解できるようにする。				
授業の方法				
講義中心であるが、「疾病の概要」は分担して、それぞれグループによる学習（課題の調査、資料作成、発表）を行う。また、この発表を通して重要事項の共通理解を深めることとする。				
学習の成果				
①人間の成長と発達の概要を説明することができる。 ②人体の主な構造と臓器の位置を説明することができる。 ③人の生活行動とからだの構造や機能が、どのように関連しているのかを説明することができる。 ④主な疾病の原因、症状、治療を理解することができる。 ⑤主な障害の原因、症状、関わる上での留意点を理解することができる。 ⑥国際生活機能分類（ICF）の構成要素を列挙し、基本的な考え方を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価についての説明等）人の成長と発達①			
第2回目	人の成長と発達②			
第3回目	「病気について」図書館で文献調査を行う。 分担された病気の、概要、症状、診断・検査、治療、予後、留意点等を調査し、資料にまとめる。文末に参考文献・引用文献を記載のこと。詳細は授業で説明する。			
第4回目	心身機能と身体構造の概要① 人体各部の名称 「食べる」			
第5回目	心身機能と身体構造の概要② 「体内の循環」「血液・血圧」「からだを守る」			
第6回目	心身機能と身体構造の概要③ 「息をする」「トイレに行く」「見る・聞く・感じる」			

第7回目	心身機能と身体構造の概要④ 「考える」「動く」「ホルモン調整とストレス」	
第8回目	疾病の概要① 生活習慣病 悪性腫瘍 脳血管疾患 心疾患 高血圧	
第9回目	疾病の概要② 糖尿病と内分泌疾患 呼吸器系疾患 血液系疾患 消化器系疾患	
第10回目	疾病の概要③ 腎・泌尿器系疾患 骨・関節疾患 感覚器系疾患 感染症 神経疾患と難病	
第11回目	障害の概要① 先天性疾患 視覚障害 聴覚障害 平行機能障害	
第12回目	障害の概要② 肢体不自由 内部障害 高次脳機能障害	
第13回目	障害の概要③ 知的障害 精神障害 認知症 発達障害	
第14回目	国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方 定期試験	
第15回目	リハビリテーションの概要 授業のまとめ	

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	教材の準備状況、授業への集中力で評価する。評価基準Sは、毎回授業への準備（テキスト、ノート等）をし、授業中は集中して聴き、必要なことはノートにとっていること。積極的に参加していること。
レポート	10%	「疾病の概要」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準Sは、課題をよく理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい資料を作成し、期限を厳守して提出すること。
調査報告書		
小テスト	20%	授業の初めに前回の授業の振り返りとして、小テストを行う。文章を読み○×を示す問題である。
中間・学期末試験	40%	語彙群からの選択の問題、文章を読み正しいものに○誤っているものに×を付けたときの組み合わせの選択問題（5者択一）、○×選択問題等
発表内容（態度含む）	10%	分担された課題について調べた内容を発表する。評価基準Sは、発表が分かりやすく、他者をひきつけるような内容であること。グループで十分に検討した学びを発表し、質問に対して的確に答えられること。
その他		

教科書と参考図書	
①新・社会福祉士養成講座 第1巻 人体の構造と機能及び疾病 中央法規出版 ②坂井建雄著 ぜんぶわかる人体解剖図 成美堂出版	
履修上の心得・ルール	
この科目は「社会福祉士国家試験」受験における必修科目である。また、社会福祉士主任任用資格の該当科目でもある。講義・文献調査ともに積極的に参加することを望む。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。	